

平成30年度 京都市立乾隆幼稚園 経営方針

教育目標 心身共に健やかでたくましい子どもの育成

めざす子ども像

- 主体的に環境にかかわり、夢中になって遊ぶ子ども（学びに向かう力）
- 全身を使い、元気に遊ぶ子ども（自立と自信）
- 友だちと楽しく遊ぶ子ども（コミュニケーション力 自律性）

研究主題

幼児の主体的な活動を通して学びに向かう力を探る
～学びに向かう力を育むための教師の援助や環境構成の在り方について～

めざす幼稚園像

- ・ 幼稚園と家庭、地域が連携・協働し、共に育ち合い、存在意義がより高まる幼稚園

めざす教職員像

- ・ 子どもの命を守りきる意識の高い教職。
- ・ 職責を自覚し、専門性を高める教職員
- ・ 互いに切磋琢磨し、自己研鑽に励む教職員

経営方針

- ・ 子どもの命を守りきるために、安全環境の構成、整備に努め、指導の改善を図り、子どもが安心安全に活動できる環境を作る。
- ・ 「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」を踏まえ、学びに向かう姿を捉え寄り添い、子どもが学びを深めていける保育を目指す。
- ・ 近隣の小学校との連携、交流を通して教員の相互理解を図り、幼小の円滑な接続を推進する。（相互の教育理解を深める）
- ・ 保護者、地域へ公立幼稚園の取組を発信し、幼稚園教育の重要性の意識が高まるよう、保育の改善、充実を目指し、乾隆幼稚園の存在意義を明確化する。（未就園児教育相談の充実 預り保育の充実 地域諸団体との連携強化）
- ・ 保育の専門性を高め、子どもの育ちを保障していくために、子どもの変容を検証し、目指す子ども像に迫る。（園内研修の充実 エピソード研修他 ）